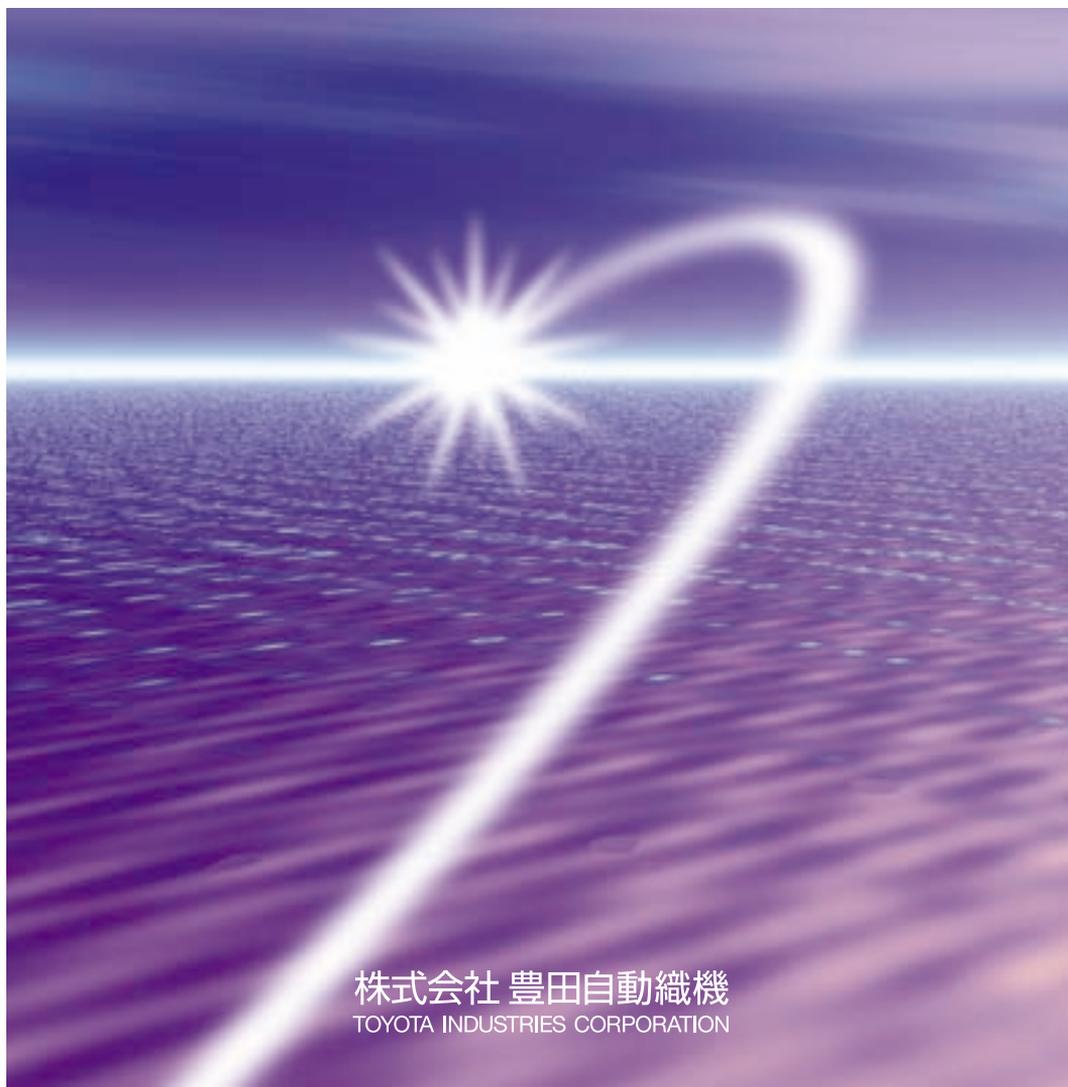


第125期  
中間事業報告書

平成14年4月1日から平成14年9月30日まで



株式会社 豊田自動織機  
TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

# 目次

■株主の皆様へ	2
■連結業績の概要	3
■トピックス	5
■環境保全に対する取り組み	7
■連結決算	連結貸借対照表 9
	連結損益計算書 10
	連結キャッシュ・フロー計算書
1 ■単独決算	貸借対照表 11
	損益計算書 12
■会社の概況	株式の状況 13
	会社の概要 14
■株主メモ	裏表紙
ホームページのご案内	

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第125期中間事業報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当中間期の連結業績につきましては、自動車部門や繊維機械部門などの増収により、売上高・経常利益とも過去最高を記録いたしました。

当期の中間配当金につきましては、さる10月28日開催の取締役会におきまして、前期に比べ1円増配の1株につき10円とし、支払開始日を11月26日とさせていただきますので、よろしくご了承を賜りたいと存じます。

当社は、環境を一層重視した経営を行うとともに、今後ますます厳しくなると予想されるグローバルな競争を勝ち抜くため、各事業においてお客様のニーズに対し、迅速にかつ柔軟に対応できるよう企業体質の強化をはかり、企業価値向上につとめてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年11月



取締役会長 **横井 明** 取締役社長 **石川忠司**

# 連結業績の概要

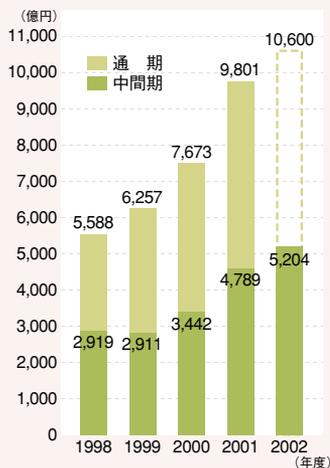
## 営業の概況

当中間期におきましては、世界同時株安の様相が強まり、実体経済への影響が懸念されてまいりました。日本では民間設備投資が低迷を続けるなど、依然として厳しい状況が続いており、欧米でも景気の先行きに対する不透明感が高まってまいりました。

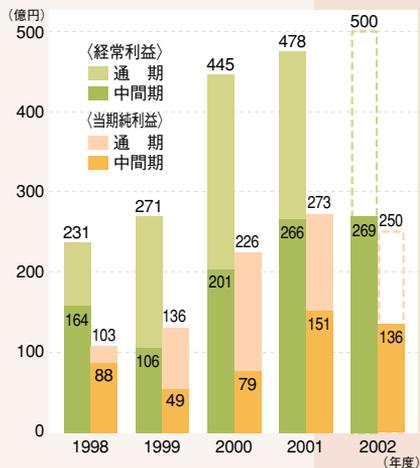
このような状況のなかで、当中間期の連結売上高につきましては、前年同期を415億円(9%)上回る5,204億円となりました。また、利益につきましては、拡販活動に加え、原価改善や生産性の向上などに取り組みました結果、経常利益は前年同期を3億円(1%)上回る269億円となりました。なお、中間純利益は、工場再配置に伴う固定資産除却損を計上したことにより、前年同期を15億円(10%)下回る136億円となりました。

3

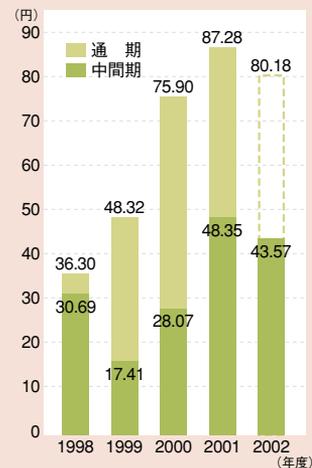
### ■売上高



### ■経常利益・当期純利益



### ■1株当たり当期純利益



(注)2002年度通期については予想値です。

## セグメント情報

### [自動車]

自動車部門の売上高は、前年同期を251億円(9%)上回る2,912億円となりました。このうち車両は、ヴィッツは減少したもののRAV4が増加し、売上高は、前年同期を68億円(5%)上回る1,362億円となりました。エンジンにつきましては、CD型ディーゼルエンジンなどの増加に加え、AZ型ガソリンエンジンの生産を開始し、前年同期を64億円(12%)上回る584億円となりました。またカーエアコン用コンプレッサーは、新商品の開発、拡販活動や生産能力の増強などに取り組みました結果、国内・海外とも増加し、前年同期を93億円(12%)上回る877億円となりました。

### [産業車両]

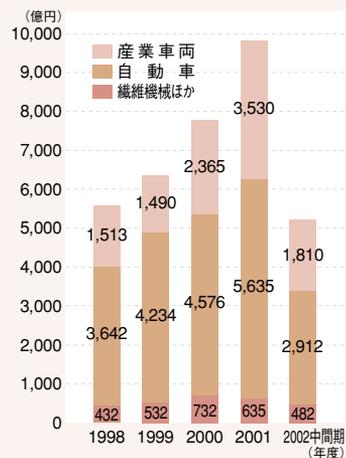
産業車両部門の売上高は、前年同期並みの1,810億円となりました。市場は国内・海外とも前年同期を下回る厳しい状況で推移いたしました。積極的な販売活動を展開してまいりました結果、販売台数の減少を最小限に抑えることができました。

なお、グローバルシェアといたしましては、トヨタブランドとBTブランドを合わせて2001年では24%となり、さらに2002年は25%達成を狙ってまいります。

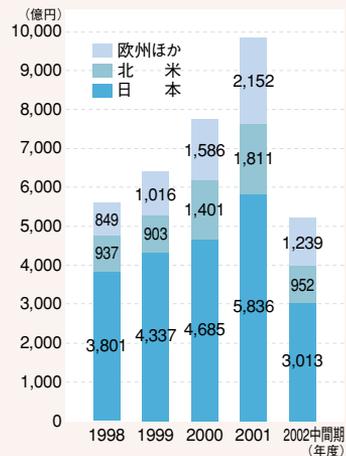
### [繊維機械]

繊維機械部門におきましては、中国最大の繊維産業拠点をめざす江蘇省・呉江地区を中心に、年初から受注した大量のエアジェット織機が売上に大きく寄与し、エアジェット織機全体では、前年同期比164%増の4,470台を達成いたしました。またウォータージェット織機についても16%増の860台となり、その結果売上高は、前年同期を67億円(41%)上回る228億円となりました。

#### ■事業の種類別売上高



#### ■市場別売上高



# トピックス

## ハノーバー・メッセに出展



本年4月、ドイツのハノーバーで、世界80カ国から7,000社以上が参加し、世界最大級の産業技術見本市「ハノーバー・メッセ」が開催されました。トヨタブースでは、フルラインサプライヤーとしての品揃え、安全システムSASをはじめとした技術力、充実したアフターサービス体制などをアピールし、新製品7FBMFモデルも展示いたしました。またBTブースでは、長期レンタルの優位性と、レンタルを支えるフルメンテナンスサービスを前面に出した展示を行いました。



BTブース



トヨタブースに展示した欧州向け新型バッテリー式フォークリフト7FBMFモデル

5

## アイチコーポレーションとの業務資本提携

当社と株式会社アイチコーポレーションは、本年4月、業務資本提携を結びました。

今回の提携により、両社のそれぞれの強みを活かした最適な商品ラインアップを実現し、当社はフォークリフトをはじめとするマテリアルハンドリング分野、アイチコーポレーションは高所作業車等の作業車両分野での地位をさらに強固なものとすることをめざしてまいります。

## 中国でフォークリフトを現地生産・販売

当社子会社豊田工業昆山有限公司（中国・江蘇省）の敷地内にフォークリフト組立工場を建設いたします。2003年4月生産開始の予定で、生産機種は、中国市場で主力の1～3トン積エンジン式フォークリフトからスタートし、順次、サービス・販売拠点を確保しながら生産台数・機種を拡大していきます。

今後、成長が期待される中国市場においても競争力の強化をはかってまいります。

## e-Lab完成

情報技術研究所e-Labが本年7月に完成いたしました。

e-Labは、豊田自動織機グループのIT化推進の戦略拠点として、ネットワーク化や三次元データによる開発の推進を通して、経営の意思決定のスピードアップや生産性向上に取り組んでまいります。



## ポーランドにディーゼルエンジン工場を トヨタ自動車と共同で設立

本年10月、トヨタ自動車と当社はポーランド共和国に、ディーゼルエンジン製造工場、トヨタ・モーター・インダストリーズ・ポーランド有限会社(TMIP)を設立いたしました。

TMIPでは、2.0リットルクラスのディーゼルエンジンを生産し、今後さらに拡大していくことが予想される欧州のディーゼル車市場に対応してまいります。

### 新会社の概要

所在地：ポーランド共和国 イェルチ・ラスコピツェ市  
会社名：Toyota Motor Industries Poland  
Sp.zo.o.(TMIP)

出資比率：Toyota Motor Engineering &  
Manufacturing Europe S.A./N.V. 60%  
当社 40%

生産開始：2005年初旬

生産能力：年間12万基(立ち上がり当初)

## CITME2002に出展

本年10月、中国・北京市で、第8回中国国際繊維機械展覧会(CITME 2002)が開催されました。

新型エアジェット織機JAT710やウォータージェット織機のほか、発売以来5年間、世界のトップシェアを守り続けているエアジェット織機JAT610を展示し、世界で最も信頼できる「完成された機械」として、難易度の高い織物の高速運転を実演いたしました。



新型エアジェット織機JAT710

## 東浦工場生産開始

カーエアコン用コンプレッサー部品の生産を行う東浦工場が本年7月に稼働開始いたしました。

当社では、日本、北米、欧州の各生産拠点において生産能力の増強をはかり、確実に供給できる生産体制の構築を進めており、国内においては、東浦工場、大府工場、刈谷工場の3工場による効率的な生産体制が確立いたしました。



東浦工場

# 環境保全に対する取り組み

「環境の世紀」といわれる21世紀。地球温暖化等、深刻化する環境問題への対応が企業の活動においても一層重要になってきております。

当社は、地球環境保護と経済発展の両立をめざし、「環境経営」を最重要課題のひとつと位置付け、豊田自動織機グループ全体での積極的な環境保全活動を展開してまいります。

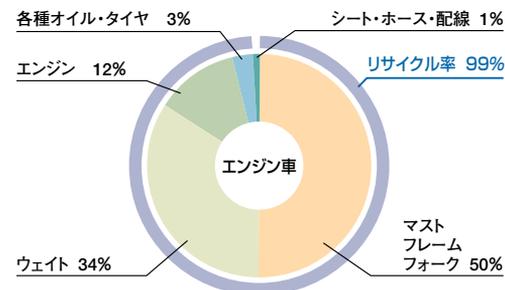
## リサイクル性を考慮したフォークリフト開発

循環型社会構築の必要性がさげられるなか、当社は、省資源化、リサイクル性向上を重要なテーマとして製品の開発を進めております。

当社が製造、販売するフォークリフトにおいては、現在リサイクル可能率99%と非常に高いレベルに達しています。

今後は、リサイクル化できていない樹脂部品等の対策を進め、循環型社会の構築に寄与してまいります。

### ■エンジン車構成部品重量比とリサイクル率

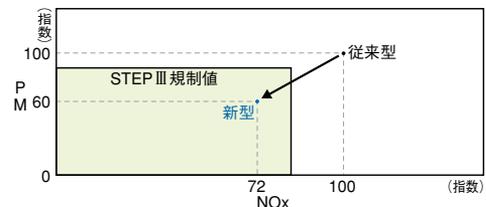


## 低排出ガスディーゼルエンジンの開発

ディーゼルエンジンは熱効率が高く燃費が良いため、地球温暖化防止の点で優れたエンジンといえます。

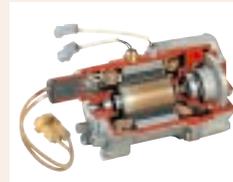
当社は最も排気ガスの規制が厳しいとされる最新の欧州排出ガス規制STEP IIIに適合させるため、NOxと黒煙(PM)の低減を実現したトヨタ1HD-FTE型直噴ディーゼルエンジンを開発し、欧州向けの最高級SUVランドクルーザーに搭載しております。

### ■大気汚染物質削減状況



## 次世代型コンプレッサーの開発

車内を快適に保つカーエアコン。その心臓部に当たるのがコンプレッサーです。当社は環境対応技術の向上を進めており、脱フロン・自然冷媒対応CO<sub>2</sub>コンプレッサーや電気自動車用電動コンプレッサー、アイドルストップ対応コンプレッサーの開発にも取り組んでおります。



電動コンプレッサー

## 環境に配慮した新工場（東浦工場）

コンプレッサー事業のさらなる拡大を目的に、当社の国内8番目の工場となる東浦工場（愛知県知多郡）が稼動開始いたしました。緑豊かな丘陵地帯に建設された東浦工場は『自然エネルギーを活用し、周辺環境との調和をはかる』をコンセプトとして、「稼動時の消費電力を一般的な工場と比較して20%削減する」ことを目標に掲げております。

風力発電・太陽光発電といったクリーンエネルギーシステムの導入をはじめとする地球温暖化防止対策の実施や、生産排水のリサイクル化による水資源の有効利用など、様々な点で環境に配慮した工場になっております。



東浦工場

- ① ゼロエミッション対策システム
- ② 処理水再利用システム
- ③ トヨタマイクロタービンコージェネレーションシステム
- ④ 水蓄熱空調熱源システム
- ⑤ クールチューブ+井水熱利用システム
- ⑥ 自動制御照明システム
- ⑦ バリアゾーン空調システム
- ⑧ 雨水利用システム
- ⑨ 風力発電式外灯システム
- ⑩ 環境負荷低減アイテム  
(エコケーブル、高断熱素材等)
- ⑪ 太陽光発電システム

### ⑨ 風力発電式外灯システム

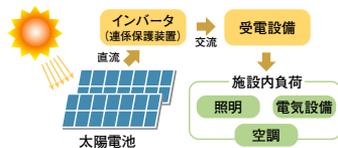
丘陵地帯特有の風力を利用し、発電。

昼間 <充電モード> 夜間 <放電モード>



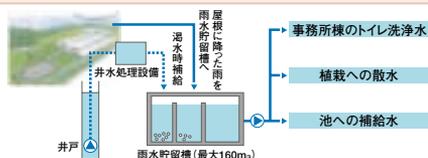
### ⑪ 太陽光発電システム

事務所屋上、外壁、正門ゲート上部に太陽光発電パネルを設置。



### ⑧ 雨水利用システム

最大160m<sup>3</sup>の雨水貯留槽を設置し、トイレ洗浄水、植栽への散水への散水に有効利用。



# 連結決算

## ■連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前 期 (平成14年3月31日現在)	科 目	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前 期 (平成14年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
<b>流動資産</b>	<b>312,833</b>	<b>295,326</b>	<b>流動負債</b>	<b>377,193</b>	<b>236,639</b>
現金預金	58,234	50,278	支払手形及び買掛金	111,741	111,251
受取手形及び売掛金	119,541	107,820	短期借入金	70,775	33,371
有価証券	27,715	28,820	1年以内償還の社債及び転換社債	95,692	—
たな卸資産	66,773	70,511	その他	98,985	92,016
その他	40,569	37,895	<b>固定負債</b>	<b>469,390</b>	<b>636,094</b>
			社債及び転換社債	120,300	216,042
			長期借入金	35,989	65,941
			繰延税金負債	271,111	315,978
			退職給付引当金	32,663	28,839
			その他	9,325	9,292
<b>固定資産</b>	<b>1,379,460</b>	<b>1,475,074</b>	<b>負債計</b>	<b>846,584</b>	<b>872,733</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>352,220</b>	<b>337,642</b>	<b>少数株主持分</b>	<b>22,696</b>	<b>18,855</b>
建物及び構築物	112,762	102,659	(資本の部)		
機械装置及び運搬具	153,881	149,259	<b>資本金</b>	<b>68,046</b>	<b>68,021</b>
その他	85,576	85,724	<b>資本剰余金</b>	<b>89,364</b>	<b>89,326</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>94,015</b>	<b>94,874</b>	<b>利益剰余金</b>	<b>264,180</b>	<b>253,975</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>933,224</b>	<b>1,042,557</b>	その他有価証券評価差額金	392,594	456,415
投資有価証券	876,337	986,354	<b>為替換算調整勘定</b>	<b>11,969</b>	<b>12,361</b>
その他	56,887	56,202	<b>自己株式</b>	<b>△3,142</b>	<b>△1,287</b>
			<b>資本計</b>	<b>823,013</b>	<b>878,812</b>
<b>合 計</b>	<b>1,692,294</b>	<b>1,770,401</b>	<b>合 計</b>	<b>1,692,294</b>	<b>1,770,401</b>

(注) 当中間期の連結子会社数は118社、持分法適用会社数は20社となっております。

## ■連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	前年中間期 (平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで)
売 上 高	520,489	478,965
売 上 原 価	436,790	402,612
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	58,485	51,943
営 業 利 益	25,214	24,409
営 業 外 収 益	13,770	11,817
営 業 外 費 用	12,079	9,588
経 常 利 益	26,905	26,639
特 別 損 失	1,534	—
税金等調整前中間純利益	25,370	26,639
法人税、住民税及び事業税	14,466	12,143
法人税等調整額	△3,355	△1,351
少数株主利益	644	713
中 間 純 利 益	13,614	15,135

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	前年中間期 (平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー(注1)	42,355	31,555
投資活動によるキャッシュ・フロー(注2)	△42,845	△57,327
財務活動によるキャッシュ・フロー(注3)	7,678	8,580
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,021	152
現金及び現金同等物の増減額	6,166	△17,038
現金及び現金同等物の期首残高	71,119	95,296
現金及び現金同等物の期末残高	77,285	78,258

(注1) 営業活動によるキャッシュ・フローとは営業活動で生じる現金収支を表します。

(注2) 投資活動によるキャッシュ・フローとは設備投資や出資といった投資活動で生じる現金収支を表します。

(注3) 財務活動によるキャッシュ・フローとは資金の調達・返済、配当金の支払いといった財務活動で生じる現金収支を表します。

# 単独決算

## ■貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前 期 (平成14年3月31日現在)
(資産の部)		
<b>流動資産</b>	<b>188,589</b>	<b>180,239</b>
現金預金	30,957	31,149
受取手形及び売掛金	74,633	65,895
有価証券	27,643	28,377
たな卸資産	21,479	25,315
その他	33,874	29,501
<b>固定資産</b>	<b>1,288,396</b>	<b>1,384,847</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>223,497</b>	<b>221,206</b>
建物及び構築物	75,694	66,043
機械装置及び運搬具	98,851	95,954
その他	48,951	59,208
<b>無形固定資産</b>	<b>6,746</b>	<b>5,587</b>
<b>投資等</b>	<b>1,058,152</b>	<b>1,158,052</b>
投資有価証券	888,194	994,008
子会社株式・出資金	143,550	138,734
その他	26,407	25,309
<b>合 計</b>	<b>1,476,986</b>	<b>1,565,087</b>

科 目	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前 期 (平成14年3月31日現在)
(負債の部)		
<b>流動負債</b>	<b>239,190</b>	<b>150,870</b>
支払手形及び買掛金	83,016	85,655
1年以内償還の社債及び転換社債	95,692	—
その他	60,482	65,215
<b>固定負債</b>	<b>429,320</b>	<b>549,923</b>
社債及び転換社債	120,000	215,742
長期借入金	20,000	—
繰延税金負債	266,514	311,973
退職給付引当金	21,720	21,056
その他	1,085	1,152
<b>負債計</b>	<b>668,510</b>	<b>700,794</b>
(資本の部)		
<b>資本金</b>	<b>68,046</b>	<b>68,021</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>89,351</b>	<b>89,326</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>261,628</b>	<b>251,835</b>
その他有価証券評価差額金	392,590	456,397
<b>自己株式</b>	<b>△3,142</b>	<b>△1,287</b>
<b>資本計</b>	<b>808,475</b>	<b>864,293</b>
<b>合 計</b>	<b>1,476,986</b>	<b>1,565,087</b>

## ■損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	前年中間期 (平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで)
売 上 高	364,682	330,487
売 上 原 価	320,249	289,019
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	25,100	22,200
営 業 利 益	19,332	19,266
営 業 外 収 益	8,210	7,126
営 業 外 費 用	4,874	4,771
経 常 利 益	22,667	21,622
特 別 損 失	1,534	—
税 引 前 中 間 純 利 益	21,132	21,622
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	10,706	8,220
法 人 税 等 調 整 額	△2,703	△266
中 間 純 利 益	13,129	13,668
前 期 繰 越 利 益	50,936	32,347
中 間 未 処 分 利 益	64,066	46,015

### [中間配当について]

平成14年10月28日開催の取締役会において、平成14年9月30日最終の株主名簿および実質株主名簿に記載された株主または登録質権者に対して行う中間配当につき、次のとおり決議しました。

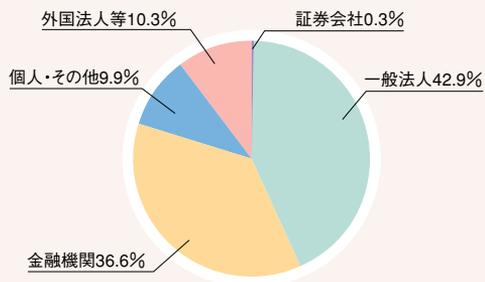
- 1.中間配当金 1株につき10円
- 2.支払請求権の効力発生日および支払開始日 平成14年11月26日

# 会社の概況

## 株式の状況 (平成14年9月30日現在)

発行する株式の総数 1,091,245,000株  
 発行済株式総数 313,324,451株  
 株主数 18,589名

### 所有者別株式分布状況

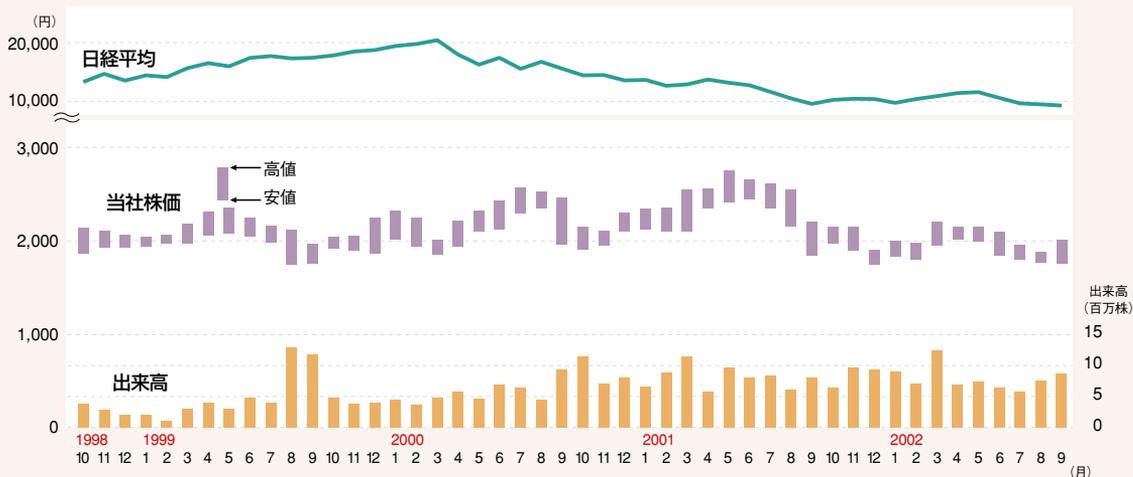


### 大株主

(上位10名)

株主名	株式数(千株)	議決権割合(%)
トヨタ自動車株式会社	77,281	24.82
株式会社デンソー	25,134	8.07
株式会社UFJ銀行	15,664	5.03
株式会社三井住友銀行	11,205	3.60
日本生命保険相互会社	10,962	3.52
UFJ信託銀行株式会社	9,278	2.98
三井住友海上火災保険株式会社	7,878	2.53
東和不動産株式会社	7,697	2.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	7,005	2.25
中央三井信託銀行株式会社	6,128	1.97

### 株価の推移



## 会社の概要 (平成14年9月30日現在)

創 立 大正15年11月18日

資 本 金 680億円

従 業 員 10,261名

本 社 所 在 地 〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地  
TEL(0566)22-2511(代表)

工場・事務所 (生産品目)  
刈谷工場(繊維機械、カーエアコン用コンプレッサー)  
長草工場(車両)  
共和工場(電子機器、車両用プレス型)  
碧南工場(車両用・産業車両用エンジン)  
大府工場(カーエアコン用コンプレッサー部品、ダイカスト品)  
東浦工場(カーエアコン用コンプレッサー部品)  
東知多工場(鋳造品)  
高浜工場(産業車両、物流システム機器)  
東京支社  
大阪事務所

海外生産拠点 (生産品目)  
アメリカ4拠点 (産業車両、ウェアハウス用機器、  
カーエアコン用コンプレッサーおよび  
マグネットクラッチ)  
フランス(産業車両)、中国(素形材)、インド(繊維機械)  
ドイツ(カーエアコン用コンプレッサー)  
スウェーデン2拠点(ウェアハウス用機器)  
イタリア(産業車両)、カナダ2拠点(ウェアハウス用機器)

役 員

取締役会長 横井 明

取締役社長 石川忠司

取締役副社長 中山尚三 野口紘一郎 豊田鐵郎

専務取締役 河村守雄 遠藤司郎 竹内和彦

常務取締役 佐藤則夫 小西正純 上村伸治郎

松浦達郎 伊藤正宣 伊村 晟

片山 巖

取締役名誉会長 豊田芳年

取 締 役 豊田達郎 荻原由光 植田征二

吉田成毅 梶原常義 松山新一郎

加藤正文 豊田康晴 三矢金平

河野博哉 吉田和憲 竹中健二

山田耕作 加勢田聡

常 勤 監 査 役 御友重孝 小宮忠志

監 査 役 磯村 巖 白水宏典 牧野 滉

## 株式に関するお手続きについて

■名義変更、住所変更、単元未満株式の買取りなど株式に関する事務はUFJ信託銀行でお取り扱いしておりますので、裏面に記載の連絡先までお問い合わせください。

■銀行・郵便局の口座振込払による配当金のお受け取りをご希望の場合は、「配当金振込指定書」に必要事項をご記入・ご捺印のうえ、UFJ信託銀行証券代行部へご提出ください。

■株券等保管振替制度ご利用の方は、お取引口座のある証券会社へご照会ください。

各種お手続き用紙は、以下の方法でもご請求いただけます。

★フリーダイヤル ☎0120-24-4479

★インターネット <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

「株式に関するお手続き」の「お手続き用紙のご請求」をご参照ください。

## 株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株 式 名 義 書 換	
名義書換代理人	UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	東京都江東区東砂7丁目10番11号 〒137-8081 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL(03)5683-5111(代表)
同 取 次 所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村証券株式会社本店および全国各支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞・中日新聞
上 場 証 券 取 引 所	東京、名古屋および大阪の各証券取引所

## ホームページのご案内



<http://www.toyota-shokki.co.jp/>

本誌は再生紙および大豆油インキを使用しております。



株式会社 豊田自動織機

愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地 〒448-8671  
TEL (0566) 22-2511 (代表) FAX (0566) 27-5650